



館長だより

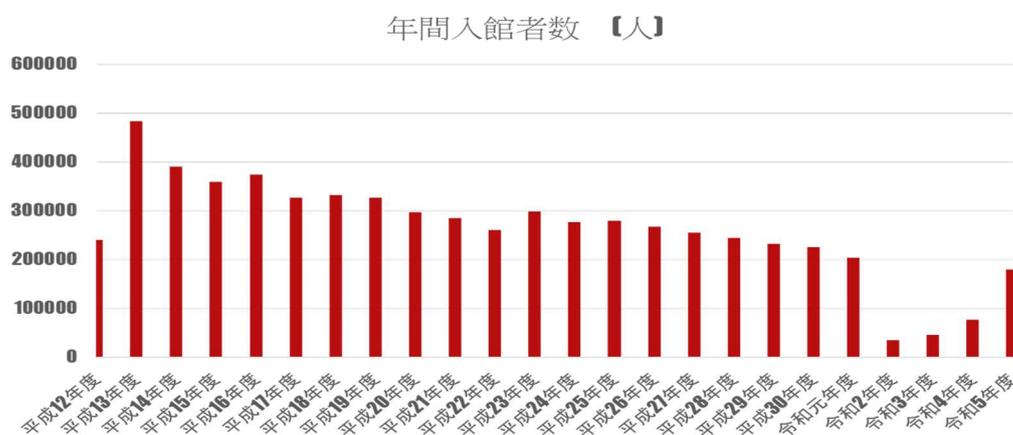
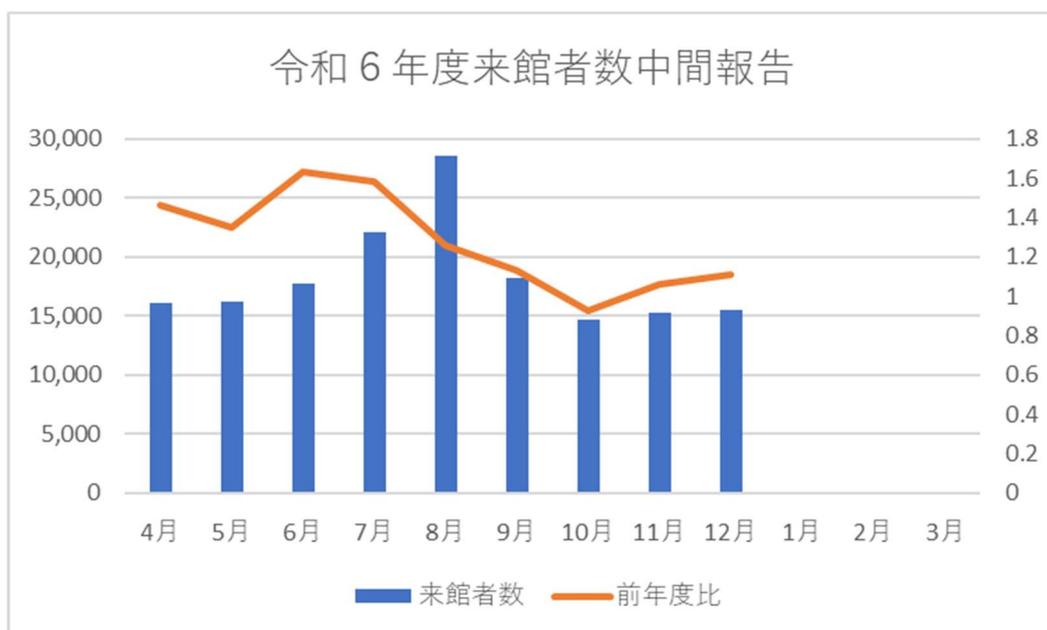
山形県産業科学館

令和 7 年 1 月 1 8 日(土)

発行 館長 加藤 智 一

令和 6 年度入館者集計中間報告

月	人数 (前年同月比)
4	16,047 (1.46)
5	16,160 (1.35)
6	17,765 (1.63)
7	22,152 (1.58)
8	28,558 (1.26)
9	18,231 (1.13)
10	14,706 (0.93)
11	15,331 (1.06)
12	15,522 (1.11)
1	
2	
3	
合計	164,472 (1.25)
累計	6,460,523



来館者数の推移だけみれば、今年度末には、コロナ発生年（平成 31 年度）実績、約 20 万人まで復活することはできるであろうと推察できますが、右肩下がりの傾向から劇的に脱却できるほどの勢いはありません。少子化により、小学校の統廃合や学級数の減少が続く限り、子ども達の来館だけに軸足を置いた運営は見直さなければならないと思います。「山形県の産業を多くの人に知ってもらおう」という目的は、実際に様々な産業に携わっておられる大人たちや、これから山形の産業を担っていく高校生や大学生、そして昨今の円安基調に合わせて訪れる外国人観光客、あるいはすでに就労ビザや語学研修で長期滞在している外国の方々にも照準を合わせた対応が必要なのかもしれません。いずれにしても、已年に象徴される、再生、脱却、知恵、繁栄といったキーワードに合わせるがごとく、攻めの一年となるよう、努力してまいりますので、みなさんのお力をお貸しください。